

福来寺(東)の「だるま市」「だるまんじゅう」

浜松市東区笠井町の福来寺で1月に開かれる「だるま市」と、そこで販売する菓子「だるまんじゅう」を広く発信しようと、同区の浜松東高の3年生6人がPRポスターのデザインを考える特別授業を20日、校内で受講した。

PRポスター 高校生制作へ

浜松東高3年生

授業でデザイン考案

商業系の選択授業の一環で、静岡文化芸術大デザイン学部の日比谷憲彦教授が講師を務めた。生徒は事前に、だるまの絵や菓子の特徴を表した3通りのポスター案を作り、授業で日比谷教授から助言を受けた。

日比谷教授はポスターを作る上で「誰に、何を伝えたいのかをはっきりさせることが大事」と強調。生徒に向けて、「余白をつくることで、主役のだるまや饅頭(まんじゅう)が目立つ」「どんどん」として見比べると良い物が見えてくる」などアドバイスした。「だるまんじゅう」は7種類の餡(あん)を入れた饅頭の詰め合わせ商品。10年ほど前に生徒と地元の「みそ



日比谷教授(右端)から助言を受ける生徒
=浜松市東区の浜松東高

のや菓子店」が共同で考案し、毎年のように販売してきた。知名度をより高め、名物として定着させようとポスター制作を企画した。ポスターは校外で掲示する予定。
(浜松総局・柿田史雄)